令和７年第13回天草市教育委員会定例会会議録

1　期　日　令和７年10月28日（火）午後２時開会

2　場　所　天草市役所　庁議室

3　本会議に出席した教育委員等

教育長	平田浩一	委員	木下えり子
委員	行合八恵子	委員	吉森啓司
委員	池崎教授	委員	小林景子

事業を終え

4　本会議に出席した事務局職員

教育部長	平野貢司	教育総務課長	山下鎮也
学校教育課長	福田稔	生涯学習課長	西﨑正和
学校給食課長	宮﨑奈美	教育総務課課長補佐	伊野上乾悟
教育総務課課長補佐	正村謙一	学校教育課課長補佐	宮本美香
生涯学習課課長補佐	坂本真理子	生涯学習課中央図書館庶務係長	吉田悦子
教育総務課総務企画係長	松下美紀	教育総務課参事	松本智明

5　本会議に付した議題等

（１）議題

議第43号　天草市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の制定について

（２）協議・報告

（１）天草市立小・中学校のあり方に関する報告について

（２）令和８年度天草市立天草幼稚園園児募集について

（３）令和７年11月行事予定について

6　会議の概要

（１）開会

平田教育長：　ただ今から、令和７年第 13 回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

（２）前回会議録の承認

平田教育長：　前回定例会の会議録であるが、何か意見はないか。なければ承認してよろしいか。

（全員承認する）

（３）教育長報告

平田教育長：　10月25日に本町小学校創立150周年記念式典が、児童、教職員、保護者、地域の多くの皆様に参加いただき、盛大に開催された。記念事業として、地域との連携が充実している本町小ならではの立派な炭窯が新たにつくられており、児童による火入れ式があった。今年度はこの後、佐伊津小、本渡南小にて150周年記念式典が開催予定である。児童生徒の活躍としては、先日、全日本吹奏楽コンクールに九州代表として参加した本渡中は銅賞、本渡南小は金賞を受賞した。本渡南小は初出場で金賞ということで素晴らしい成績を残した。10月16日にあましんスタジアムで開催された天草郡市中学校駅伝競走大会において、男子の部は本渡中、牛深中、大矢野中、稜南中が郡市代表となった。

女子の部は本渡中、大矢野中、稜南中が郡市代表となった。11 月６、７日に同会場で開催の県中学校駅伝競走大会においても活躍を期待したい。

（４）議題

議第 43 号　天草市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の制定について

平田教育長：　事務局より説明をお願いする。

福田学校教育課長：　本件については、令和８年４月１日より「あまくさ幼稚園」を開設するにあたり、これまで実証事業として行っていた預かり保育事業について、本格実施として行うため要綱を定めるものである。基本的にこれまでの実証事業と変わるものではないが、第１条に趣旨、第２条に対象者、第３条に実施日、第４条に実施時間、第５条に利用申請等、第６条に保護者負担金、第７条に預かり保育料の免除、第８条に保護者負担金の納入、第９条に利用の解除、第 10 条に保護者の責務、第 11 条にその他を条文化している。大きく変わるものは、第６条の保護者負担金について、これまで一人１回につき 100 円であったが 200 円に、長期休業日については、一人１回につき 400 円であったが 600 円としている。

平田教育長：　委員の方からご質問、ご意見等ないか。

木 下 委 員：　第４条に教育時間終了後から午後４時までとするとある。先生方の勤務時間もあると思うが、４時を５時にしてほしいという要望はないのか。働いていても幼稚園に入れたいという保護者もいると思う。幼稚園の門戸を少しでも広くするために、時間調整を考えてほしい。また、第３条（４）の預かり保育を利用する園児がいない日、これは当然実施しないということなので、不要ではないのか。

福田学校教育課長：　預かり保育の実施時間については、来年４月に１園にするにあたり、フルタイムの保護者にも対応できるように当初は考えていたが、少子化の影響もあり、近隣の私立保育園及び幼稚園の状況、供給量等も見て判断している。

木 下 委 員：　要望はなかったのか。

宮本学校教育課長補佐：　園としても時間が長くなることに対するアンケートを行ったが、現在の在園児の保護者からは、長くなればいいという希望はあったが、実際は世帯数31人に対して就労者が12人、その中でフルタイムは１人で祖父母と一緒に過ごされているため、お迎えは祖父母の方がされている。パートや自営が８人、無職が３人で、就労、未就労に関わらず、子育て支援としての利用が現在あるので、今のところ長くまで預かってもらったら、もちろん助かるという声もないことはないが、現状で利用されている方が多い。

木 下 委 員：　新しく入れたい保護者の思いもあると思う。少しでも時間が延びれば、幼稚園教育を受けさせたい保護者もいると思う。

宮本学校教育課長補佐：　これから先、そういった声を聞き入れながら検討していきたい。

行 合 委 員：　第３条実施日（２）は冬休み休業期間だと思うがどうなるのか。長期休業の預かり保育はどのような状態でされるのか。また、預かり保育の時間も長くなるのであれば、お昼やおやつもあると思うが。

宮本学校教育課長補佐：　冬休みについては長期休業となり、年末28日から１月４日までである。長期休業中の保育については、試行の段階でもお昼寝を取り入れている。おやつについてはアレルギーの関係もあり、取り入れていない。長期休業の時はお弁当を多めに持たせていただいている。

行 合 委 員：　時間が長く、弁当持参とお昼寝ということになると時間も長くなる。実際、利用しているのかが分からないので質問した。

宮本学校教育課長補佐：　７月の段階で平均利用人数は5.6人、８月は4.3人で、就労、未就労に関わらず利用されていた。

木 下 委 員：　申込書は毎回提出するのか。また、申請理由は必要なのか。

宮本学校教育課長補佐：　申込書は年度当初に１回だけ、理由もリフレッシュの場合も用事のためなど大まかな

理由でよい。
平田教育長：　他になければ、議第43号については承認してよろしいか。
（全員承認する）

（５）協議・報告
（１）天草市立小・中学校のあり方に関する報告について
平田教育長：　事務局より説明をお願いする。
山下教育総務課長：　今後の天草市立小・中学校のあり方については、学識経験者や地域代表、学校関係者、保護者代表10名からなるあり方検討会を昨年12月に設置し、当教育委員会より①望ましい教育環境に関すること、②小・中学校の学校規模・配置等に関すること、③その他小・中学校の今後のあり方に関して必要な事項に関することの３つの協議事項について依頼を行い、それぞれの立場から議論・検討を重ねていただいた。９月29日付けで、あり方検討会の石村会長から教育委員会に提出された報告書は、現状と課題を整理し、第１回から４回の会議内容、検討状況をまとめ、最後に３つの協議事項について、それぞれ提言という形でいただいた。

まず、望ましい教育環境について、天草市の現状からみて、国の法令に基づく適正規模をすべての学校で目指すことは現実的でない。小学校の学校規模としては、前回の適正化計画と同じく６学級以上が望ましい。中学校においては、１学級あたりの人数はある程度の規模を確保することが望ましい。さらに、学校施設・設備の維持や更新についての視点も含め、望ましい教育環境を検討する必要がある、とされている。

次に小・中学校の学校規模・配置について、県内で最も面積が広く、離島もある本市において、地理的要因や交通事情によっては、統廃合による適正化は困難である。また、スクールバスであっても通学時間が１時間以上となることは、児童生徒の負担面からも避けるべきであるとまとめられている。さらに旧町の境を超える統廃合は、学校が地域のコミュニティの拠点として、まちづくり等と密接に関係していることを鑑みれば、特に小学校においては、人数が少なくなった場合においても、複式学級を含めた小規模校として存続するという選択肢も必要ではないかとまとめられている。

３つ目の小・中学校の今後のあり方に関しての必要な事項については、子どもたちの教育環境をより良いものとするために、保護者のみならず、地域の関係者と課題を共有し、地域でどのような教育を目指すのかを話し合うことが重要である。また適正化の方法として、統廃合以外に校区の変更や学校選択制（小規模特認校制度）、小中一貫教育の導入など、それぞれの地域の実情に応じた対応策を検討する。検討の結果、小規模校として存続する場合も、地域の協力やＩＣＴ技術を最大限に活用することで、小規模校のメリットの最大化・デメリットの緩和に取り組むことが必要であり、さらに、複式学級となった場合も、他の学校との交流や関係者の創意工夫によって教育の充実に取り組むことが望まれる、とされている。

なお、今回の報告書の内容を踏まえ、11月19日に開催予定の総合教育会議において、市長を交えて意見交換を予定している。

（２）令和８年度天草市立天草幼稚園園児募集について
平田教育長：　事務局より説明をお願いする。
福田学校教育課長：　本件について、まず、募集園については、令和８年４月１日よりあまくさ幼稚園の１園となるので、この１園で募集を行う。入園の要件は、令和２年４月２日から令和５年４月１日までに生まれた５歳児から３歳児までとしており、保護者が本市に居住し、住民登録している幼児で、保護者同伴で通園できる幼児としている。募集期間は、令和７年 12 月１日から令和８年１月９日迄としている。定員等は３歳児から５歳児まで計50人としており、応募人数によっては混合クラスとする場合もある。就園時間は、登園

が８時 10 分から９時まで、降園は午後２時である。この他、預かり保育の本格実施については、今後、運営組織体制の充実を図るため、従前より試行で実施していたものを本格実施としていきたいと考えている。通常保育日については、一人につき１回 200 円、長期休業日については、一人につき１回 600 円で実施していきたいと考えている。

（２）令和７年11月行事予定について

平田教育長：　事務局より説明をお願いする。

山下教育総務課長：　11月の行事予定については、４日及び13日にリーディングＤＸスクールの公開授業が本渡北小学校、五和中学校、牛深東小学校、河浦小学校を会場として開催される。４日から７日は幼稚園週間である。５日、10日、14日、27日に学校訪問が計画されている。７日は県中体連駅伝競走大会があましんスタジアムを発着として開催される。11日に市内園長・校長会議をここらすで開催する。次期市議会定例会は、25日から12月12日までの18日間の予定で開催される。なお、次回の教育委員会定例会は17日を予定しており、総合教育会議を19日に開催予定である。

7　その他

平田教育長：　その他で事務局や委員から何かないか。

西﨑生涯学習課長：　図書館を使った調べる学習コンクールの表彰式について、11月９日ここらす会議室で予定している。このコンクールについては、夏休み期間中を中心に、図書館、学校図書室などの資料を活用して、それぞれが個人的に探求を行い、その探求した成果を作品として出品をしていただくよう募集を行っていた。今回が初めてで、小学生の部で13作品の応募があった。その中で９作品が天草のことについて探求していただいた。当日は、最優秀賞、優秀賞、天草市立図書館協議会長賞の３つの賞について、表彰状の授与と、当日は３名の受賞された方に、スクリーンで作品を紹介しながら発表をしていただく予定である。

8　閉会

平田教育長：　以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れさまでした。